



地区目標 ロータリーに夢をもって行動しましょう!!

クラブテーマ 想像から行動へ～優しさ溢れる出会い (DEI) のクラブ～

- ◆点鐘：市村 清勝 会長 ◆ロータリーソング：我等の生業
- ◆司会：遠藤 直樹 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル



第**2963**回例会

令和4年**11**月**28**日(月)

会長あいさつ

市村 清勝 会長



今日は、伊東忠太という人の魅力について話をさせていただきます。この伊東忠太さんは全国的にも有名な建築家であります。近代建築の基礎を作ったといっても過言ではありません。でも残念ながら山形県の県民はあまり名前すら知らないというのが現実です。

伊東忠太さんは1867年、米沢で生まれました。5歳から7歳まで米沢藩の藩校、興譲館で学んでいます。彼の父は帝国陸軍の軍医だったため、7歳の時に千葉県佐倉市に移ります。その後、東京帝国大学の工学部に進みます。卒業論文は「建築哲学」です。「建築」という言葉はこの人が初めて使いました。それまでは建築という言葉はなかったんです。

伊東忠太は、帝国大学の助教授の時に、中国、インド、ヨーロッパを建築の調査の旅に出ます。その後日本で築地本願寺を作ります。浄土真宗ですが仏教の発祥の地はインドということでインドの建築様式がかなり色濃く出ています。鉄筋コンクリートのインド様式の社寺建築になっています。



私はある人に「山形のガウディだと思ふよ、伊東忠太は」と言ったら、「山形じゃない。日本のガウディだ」と言われて、まったくそのとおりだなと思っております。

山形県内にも伊東忠太の設計した所が何力所かありまして、大正3年に高畠の亀岡文珠、大正12年に米沢の上杉神社。さらに昭和12年、七日町の明善寺が70歳の時の作品であります。有形文化財に登録されています。こちら、伊東忠太の実の弟



がここの檀家総代をしているという話を聞きました。今からでも歩いてでも行けますから、ぜひ興味のある方はご覧いただくと、伊東忠太の設計を感じることができるんじゃないかなと思います。

幹事報告

安部 弘行 幹事

- 先日行われました地区大会にたくさんの方からご出席いただきまして誠にありがとうございました。その時に、昨年度の表彰を3つほど頂戴してまいりましたので、会長よりご報告をお願いします。
- 市村清勝会長／ガバナー賞をいただきました。クラブとして活動を一生懸命やってもらったところに出される賞であります。東海林年度に対していただいた賞だと思っております。大変ありがとうございます。続きまして、米山記念奨学会から西ロータリークラブに寄付総額第1位ということでいただいております。大変ありがとうございました。
- もう一つ、今のは総額でしたが、個人の平均もクラブが地区内で第4位ということで、感謝状をいただいております。どうもありがとうございました。
- 来週12月5日は年次総会になっております。皆さまの出席をよろしくお願いいたします。
- 今週30日水曜日、第4回目のIM実行委員会がありますので、実行委員の皆さまはご出席いただきますようよろしくお願いいたします。

ニコニコBOX

〈11月28日〉

市村清勝会長／姪っ子の結婚

先日、申し訳ありませんが地区大会を途中で抜けて、かわい姪っ子の結婚披露宴に参加しました。とても美しい姪っ子に涙ボロボロでした。嬉しいけど寂しい、複雑な伯父心でニコニコシクシクです。

武田元裕さん／上林理事ようこそ

ロータリー財団の卓話、よろしくお願い申し上げます。

菅原茂秋さん／上林パストガバナーを歓迎して

上林パストガバナー、ようこそ山形へお越しいただき、感謝申し上げます。本日のロータリー財団の卓話、楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

安部弘行さん／地区大会参加ありがとうございました。

遠藤靖彦さん／メコムチャンネル

メコムのYoutubeチャンネルの『芝刈り対談』に出席させていただき、安部社長と佐藤社長（ヤマコンさん）に勝ちました。

ゲスト卓話



R財団について

上林 直樹 さん

〔酒田中央ロータリークラブ パストガバナー〕

ロータリー財団のチャートを作りました。ご覧ください。1917年、ロータリー財団のアーチC・クラフが外に向かって良いことをしようということで、多くのことが始まっています。良いことをするためにはやっぱりお金が、財源が必要ですから、その財源を皆さんから集めようということでそこから財団が始まりました。

一番左側の端のA1、これは年次基金寄付といえます。R Iとの約束はあくまでも1人100ドルからです。地区の目標としてプラス50ドルをお願いしたい。トータル150ドルということでもあります。一番これが身近かなという感じがします。

それからA2が、使徒指定寄付。1万ドル以上でございます。ということは日本円で約150万円以上ということになります。これはあくまでも用途が決まっていますので、この用途に使ってください。ポリオプラス、ロータリー平和センター、承認されたグローバル補助金、冠名基金、重点分野、ロータリー災害給付基金。使い道が決まっている寄付でございます。

A3というのは恒久基金、これは将来のために今のうちに集めておこうということで、ロータリーは純資産として約10億ドル、将来の寄付の誓約として10億2,500万ドル、合計20億2,500万ドル、これは日本円でいうと300億円です。これを2025年までに築くという目標を立てました。去年、2021年6月末の段階で約15億ドルが集まったんです。これから2025年までですから、あと3年ありますのでなんとかこれをクリアするところまでございます。そのお金をきちんと恒久基金として集めようということなので、それをちょっと頭に入れておいてください。

1回戻りますけれども、A1の年次基金は3年後に地区に半分戻ってきます。さらにその半がWF、R I財団管理委員会に保留されます。こちらに戻ってくるのはDDF、地区財団活動資金として半が一応戻ってきます。一応というのは、またさらにその半がグローバル補助金、半が地区補助金、今の表でいきますとC1、C2ですけど、こちらのほうに戻ってきます。われわれが出したお金の中で約4分の1が戻ってくる形となっております。金額にすれば約6億円、400万円という形になります。

ロータリー財団のセミナーを受けて、社会奉仕委員会ですとか、いろんな奉仕活動をやりますよね。その時にクラブから「こういうことをやりたい」「これに関してこういうお金がほしい」ということがあります。内容的にわれわれがチェックして、約10万円から30万円ぐらいの予算を補助金として皆さんのクラブに「これで使ってください」という感じでお返しすると。ただ1つ内規があって、まったく寄付をしていないロータリークラブは申請はできません。一切寄付をしてないクラブがいただくというのはいかがなものかなというのがありまして、ドライかと思われま

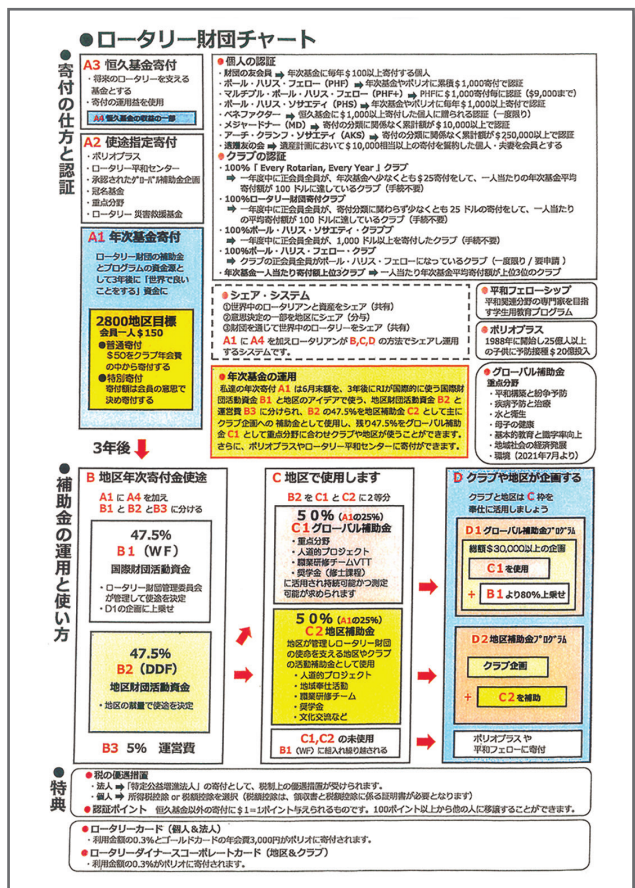
すがご理解いただきたい。

もう1つ、グローバル補助金、これはなかなか難しいんですけども、日本円で約450万円以上の事業をやりなさいと。それに対してはグローバル補助金として補助金をおあげしますという状況です。山形県では1つしかなかったかと思います。これは平和と紛争予防、それから疾病予防と治療、水と衛生、基本的な教育と識字率の向上、経済と地域社会の発展、母子の健康、それに新たに加わった環境、この7つでお金を使ってくださいと。できるだけグローバル補助金を使ってくださいと。実際なかなか難しいところですよ。

財団のセミナーがあったのでまた別の話をします。過去に他国に対してなんやかんや色々ありまして、日本が迷惑をかけてきたのは事実です。その後の平和日本を理解してもらうにはアジアの国々から1人でも多く奨学生を日本に迎え入れて、日本を見て、感じてもらうしかない。ということで、1957年にロータリー米山奨学委員会が結成されました。過去から今まで全国でロータリーで年間約800人ほど。累計で21,624人。迎え入れた国が129カ国。中国が一番多くて、他に韓国、台湾、ベトナム、マレーシア、モンゴル等々でございます。

いろいろロータリーにも基金があって、米山の寄付金によって奨学生の数が変わります。いっぱいお金を出せばいっぱい奨学生を呼べる。簡単な話だと思います。われわれ2800地区は申し訳ないけど全国で下から4番目です。1番多いところだと1人あたり27,421円の寄付をしております。じゃあわれわれ2800地区はとなると、11,334円です。そういうことも頭に入れておいていただきたと思います。

時間になりましたので終わりにしたいと思います。どうもありがとうございました。



本日出席 (11 / 28)	会員総数	出席会員数
	101名	54名 (Zoom参加 9名含む)